

モデル日程 北アフリカ チュニジア周遊の旅

日	スケジュール/宿	泊/食	事
①	成田（夜）➡ 夜、成田より空路、ドーハ乗換えにて北アフリカ屈指の大都市でチュニジアの首都の チュニス(世界文化遺産) へ。 【機内泊】××機		
②	➡ ドーハ ➡ (午後) チュニス ➡ ザグーアン ➡ (夕刻) ケロアン 着後、7世紀にアラブ軍が築いた北アフリカで最初のイスラム都市で、イスラムの聖地メッカやメディナに続く4番目の聖地 ケロアン(世界文化遺産) へ。途中、現在残る部分だけでも20kmもあり全長132kmを誇る世界最長のローマ時代のザグーアンの水道橋を観光。 【ケロアン泊】機機タ		
③	ケロアン (午前) ➡ スペイトラ ➡ (夕刻) トズール 午前、640年に建立されアフリカ最古で最大規模を誇る グランド・モスク 、モハメッドの同志で聖者アブ・ザマエル・ベラウィが眠る シディ・サハブ靈廟 を観光。その後、かつて“ローマン・アフリカの果て”と呼ばれアルジェリアとの国境近くの大オアシスの トズール へ。途中、チュニジアに残る一番新しいローマ遺跡 スペイトラ では、紀元300年に建てられた 凱旋門 、カラフルなモザイクが残っている 大浴場 、神殿群の入口になっている フォーラム(公共広場) などを観光。 【トズール泊】朝昼夕		
④	トズール (午前) ➡ ショット・エル・ジェリド ➡ (午後) マトマタ 早朝、四輪駆動車に乗って映画『イングリッシュ・ペイント』のロケ地としても有名な砂丘 オング・エル・ジュメル にて サハラ砂漠の日の出鑑賞 を楽しみます。 午前、日干しレンガで造られ幾何学模様の壁などが印象的な ウルド・エル・ハデフ地区 、馬車に乗って20万本のナツメヤシや果樹が植えられている カレーシュ を観光。その後、映画『スターウォーズ』のロケ地としても有名でベルレベル人の穴居住宅がある マトマタ へ。途中、北アフリカ最大の塩湖 ショット・エル・ジェリド を観光。着後、 穴居住宅、映画『スターウォーズ』のロケ地 を観光。 【マトマタ泊】朝昼夕		
⑤	マトマタ (午前) ➡ スファックス ➡ エル・ジェム ➡ (夕刻) スース 午前、“サヘル地方の真珠”と呼ばれるチュニジア第3の都市で地中海に面した スース(世界文化遺産) へ。途中、チュニジア第2の都市で“チュニジアの大阪”ともいわれている商工業の町 スファックス では、城壁で囲まれた旧市街 メディナ を観光。ローマ帝国の中で最も豊かな都市のひとつであった エル・ジェム では、紀元3世紀に造られ保存状態が大変よい エル・ジェム円形闘技場(世界文化遺産) 、ローマ時代の精巧なモザイク画を見る能够である エル・ジェム博物館 を観光。 【スース泊】朝昼夕		
⑥	スース (午前) ➡ カルタゴ ➡ シディ・ブ・サイド ➡ (夕刻) チュニス 午前、再びチュニスへ。途中、フェニキア語で“新しい町”という意味の カルタゴ遺跡(世界文化遺産) では、古代カルタゴの中であった ピュルサの丘 、広大な公共浴場であった アントニヌスの共同浴場 、ポエロの墓地 トフェ 、今ではただの池にしか見えない 古代カルタゴ港 、この周辺から出土したものを展示してある カルタゴ博物館 を観光。チュニジアの中で最も美しいといわれる南地中海に面した町 シディ・ブ・サイド では、チュニジアンブルーの ドアや窓枠と白壁の家並みの散策 を楽しみます。 【チュニス泊】朝昼夕		
⑦	チュニス (午前) ➡ ドゥッガ ➡ チュブルボ・マジュス ➡ (夕刻) チュニス 終日、チュニジアの中で最も保存状態のよいローマ都市 ドゥッガ(世界文化遺産) では、多くの床モザイクが発見された ローマ人の住居 、ドゥッガのシンボル的存在 キャピトル 、女性らしい丸みを帯びた カエレスティス神殿 などを観光。その後、ベルレベル人からフェニキア人の都市として存在していた チュブルボ・マジュス では、遺跡の中心となる広場 フォルム 、211年に建てられた マーキュリー神殿 、三辺を円柱が囲んでいた キャピトル などを観光。 【チュニス泊】朝昼夕		
⑧	チュニス (午後) ➡ ドーハ 午前、チュニジアで2番目に古く別名“オリーブの木のモスク”でチュニス最大で最高の聖地 グランド・モスク(外観) 、“チュニジアのルーブル”といわれチュニジア各地で発掘されたモザイク画が数多く所蔵されている バルドー博物館 を観光。午後、チュニスより空路、ドーハ乗換えにて帰国の途へ。 【機内泊】朝昼機		
⑨	ドーハ ➡ (夕刻) 成田 夕刻、成田着。		機機×



ケロアン グランド・モスク



エル・ジェム円形闘技場



オング・エル・ジュメル(サハラ砂漠の日の出)



シディ・ブ・サイド